

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

胃腸炎が流行しています

10月中旬ぐらいから吐いたり、下痢を主訴に来院される患者さんが多くなってきました。これから冬場にかけて胃腸炎の流行は続くと考えられます。感染経路としてはウイルスが口から入る糞口感染です。吐いたり下痢をしたお子様の後片付けをした保護者の手にウイルスが付いていて、下のお子様へ…ということもありますし、トイレのドアノブ、手洗い場の蛇口などに付いた少しのウイルスでも症状を引き起こしてしまうぐらい感染力の強いウイルスです。家族の一人が感染してしまうと、家族全員が感染してしまうこともあります。（大人も発症することがあります）



ロタウイルス、ノロウイルスなどは検査で分かる代表的な胃腸炎を引き起こすウイルスですが、検査で検出されない胃腸炎をおこすウイルスももちろん存在します。ロタウイルス、ノロウイルスを調べる検査も100%ではありません。「ロタ、ノロじゃなくて良かった」ではなく、お子様の今の状態を把握することが一番大切です。胃腸炎の治療はロタウイルスでもノロウイルスでも、もちろん他のウイルスでも一緒です。嘔吐や下痢で失った水分や塩分を点滴で補ってあげる対症療法が基本となります。

胃腸炎の原因になるウイルスにはアルコール除菌では効果がありません。消毒には次亜塩素酸ナトリウムです。希釈して消毒に使用しますが、時間が経つと効果がなくなってしまうため、その都度希釈して使用する必要があります。**感染予防の一番は手洗いです！！**

嘔吐、下痢症状意外にこんな症状があったら注意が必要です

下痢や嘔吐の症状の他に、唇や皮膚がカサカサで、泣いても涙が出ない、よだれが出ない、目がくぼんでるなどの症状がある場合、重度の脱水です。稀に合併症として脳炎などがあり、重症化することがあります。ボーっとして意識がはっきりしない、受け答えが出来ないなど普段と違うと思ったら、大至急病院に連れてきて下さい。



嘔吐、下痢のときのおうちでのケア

○嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

○下痢がひどいとき

おしりふきでしっかり拭くよりも、シャワーで洗い流せばおしりは荒れにくくなります。

○水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水分からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがらるもので大丈夫です。

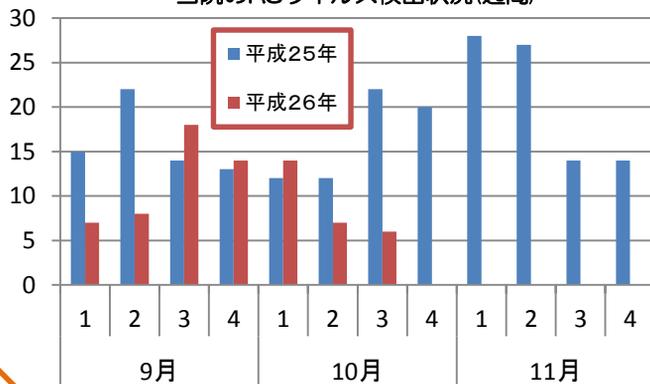
※吐き気止めの座薬を有効に使いましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をとんでも消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気が強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。**本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！**

当院の流行状況

- ・RSウイルスの検出数は落ち着いています。
- ・昨年は11月も流行が続いていましたので、これから再度流行する可能性もあります。

当院のRSウイルス検出状況(週間)



11月の病棟行事は「あきみーつけた」です

11月20日に病棟行事「あきみーつけた」を行います。病棟保育士による手作り楽器シアターと、製作は芸術の秋ということで音楽を奏するために楽器を作っていただきます。幼児期・学童期のお子様は牛乳パックとペットボトルの蓋で作るカスタネット、乳児のお子様はペットボトルとストローで作るマラカスです。



幼児期・学童期のお子様はカスタネット
乳児のお子様はマラカスです。

♪ペットボトルの蓋で作るカスタネット♪



牛乳パックを二つに折ってカスタネットの形にしたら、挟んだら当たる部分にペットボトルの蓋をボンドで付けます。表を飾り付けしたら出来上がりです。叩くとカチカチと音が鳴ります♪

♪ペットボトルで作るマラカス♪



ペットボトルの中に切ったストローを入れます。蓋はしっかり締めてテープで止めましょう。ボトルの周りを自由に飾り付けしたら出来上がりです。本当は粒のものやビー玉などがよいのですがお子様の誤飲を防ぐためです。ストローでも十分シャカシャカ音が鳴りますよ♪



当院を受診される患者保護者様へ

- ただいま病院新築工事でご迷惑をお掛けしております。工事車両が病院の前を通ることもあります。警備員を配置して安全に努めていますが、保護者の方々もお子様の安全に十分ご注意ください。病院内外でお子様から目を離さないようお願い致します。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないよう、混雑時は譲り合っておかけ下さい。なお、ベビーカーは病院玄関前にスペースを設けておりますので、ご利用ください。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力お願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。